

大地

第 46 号
2014. 5. 12. 発行
浄 國 寺
上越市寺町3丁目14-10
☎025-523-5724

俳句

山崎 睦

春眠と言ふ眠たさの中にあり

かさかさ姉の納骨春の雲

川音を枕に初音聞く湯宿

万緑のループラインといふ山路

老斑も皺も人生花菖蒲

除草剤撒けば草死に土も死に

夏夕日日本海に吞まれゆく

瀬音また涼風の内湯宿かな

一語また一語いただく盆法話

(平成十三年 作)

名前のこと

山崎隆昌

次に掲げた名前は、五月八日付けで上越市に届けられた新生赤ちゃんの名前である。これは届出された全員の名前で、特に難しいものだけを選んだ訳ではない。

- ① 娃衣奈、② 榛、③ 凜華、
- ④ 行、⑤ 悠羽良、⑥ 蘭空、

読者諸氏はどれくらい読めるでしょうか。残念ながら、私には全く読めない。実際の読み方は、以下の通り

- ① あいな、② はる、③ りんか、
- ④ ゆく、⑤ ゆうら、⑥ らら、

名付けた人の意図するところは、並んだ漢字の意味から理解できるが、読むとなるとかなり難しい。

名付けの仕方は時代と共に変わってきた。これらの名前も「現代」という社会の状況を反映しているであろう。今の若者の憧れは漫画やアニメのヒーローなのかも知れぬ。

浄國寺の過去帳は、大正四年に発生した寺町の大火の際に焼失し、古いものは残っていない。それでも、時代による名前の変化が見取れる。とりわけ昭和二十年を境とする戦前と戦後の名前では大きく異なってくる。古い過去帳にある名前には、判じ物のよう

な名前もあるし、意味が難解なものもある。ただ、総じて読み方の判らぬ名前は無い。

父の兄弟は、男三人女四人の七人兄弟であった。その四人姉妹の名前は「ヒデー」「クニ」「タミ」「ヤス」である。この名前について父が説明するところによれば「日出ずる国、民安かれ」と読み、日本の国民の安泰を念じて付けられたという。真か嘘か判断しかねるし、どうも出来過ぎの感がある。

ところで、私達にはもう一つ大切な「法名」(他宗では戒名)という名前がある。法名は「仏門に入った者に付ける名前のこと。真宗では、僧侶は得度式の際に、在俗者は帰敬式の際にこれを授ける。帰敬式を受けなかった者は、死亡の時、手次寺からこれを受ける。法名の上に釈の字を付けるのは、ひとしく釈尊の弟子になったことを表わす」

《真宗新辞典より》

浄國寺では、これまでに檀信徒の方のうち二十人を超える人が、生前に帰敬式を受け法名を授けられている。法名は亡くなった時の名前ではなく、親鸞の教えに身を寄せた(帰依)者の名前であることを確認したい。

檀信徒の皆様から帰敬式をぜひ受けて頂きたいと思います。

「名は体を表す」とか「名前負けする」とか言われるが、さて我が名前と我が体はいかがなものか。いささか心もとない気がする。

湖北・高月小学校の

大地球儀を修復

足立区 渡辺美和子

地球儀屋の家業を継いでもう二十年になります。昨年六月ごろ、滋賀県長浜市立高月小学校の校長先生からおお問い合わせの電話がありました。

「六十年前、ヤンマーの創業者・山岡孫吉さんから小学校に寄贈された直径百六十センチの地球儀があります。かなり傷んでいますが修復できますか？」というお電話でした。

渡辺教具は十数年前から特注の大きな地球儀を東海大学情報技術センター（コンピュータによる画像処理を他に先駆けて始め、独自の人工衛星からの受信設備も持っています）の協力もあり、次々と作成した経験もありました。

それで「できるかとは思いますが、古いものですから台座を含めて、実際にその地球儀を拝見しないと分かりません。」とお答えして、琵琶湖の北にある小学校の古い保管場所に伺いました。

台座が傷んで、その修復が必要な場合も考えて、舞台・テレビなどの大道具の制作では名前も実力もある（株）俳優座

の鉄鋼制作の鈴木さんにも一緒に行ってもらいました。

米原駅に着くと美濃部俊裕校長先生が出迎えに来てくださいました。聞けば浄土真宗のお寺のご住職もしていらつしやるとのこと。それでお話は分かりやすいし、土地でのお知り合いも沢山いらつしやる方でした。

しかし、実際にその地球儀を見に部屋に入ると・・・「丸くない！」思わず後ずさりしてしまいました。十八分割した地図を貼るには球体は丸くないと地図の歪みが出てしまうのです。今まではそれぞれサイズの特注地球儀を作成するにあたっては、丸い球体を追い求めて作成にたどり着いてきました。この地球儀は一時期、雨漏りした場所の下にあったこともあるそうです。竹材に和紙を貼ってあり、台座もよく回りません。

見終わってから校長室で、地球儀修復に熱意を持った地元の方々に囲まれ、さてなんと申し上げてよいのか考えあぐねているところに、隣に座った鈴木さんが、球体を修復してから手描きで地図をかけばなんとかできるのではないかと提案しました。費用もそんなにかからないということになりお受けすることになりました。

帰りに校長先生が見せてくださった国宝の十一面観音像（真宗大谷派向源寺所蔵）のすばらしさも学生時代に「古美術研究会」に入っていたものとしては、ひどく心を打たれ、仕事をお引き受けするきっかけの一つとなりました。

それにしてもその後は大変でした。地球儀をお預かりすると、丸くない球体の竹で編んだ部分は中心を通っていない、竹が古すぎてひっぱることができないなど、修理は大変でした。三月一日のお披露目会に間に合わせなければならぬ、けれど渡辺教具は、他にも今までにない大量な地球儀を三月末までに仕上がり納品するためにアルバイトをお願いし、社員全体が総力を挙げて残業しながらの生産をしていました。二月には埼玉では二度も大雪が降り、二度目は急な重い雪のために会社は初めて滝のような雨漏りに見舞われたりしました。

浄國寺様に伺うと、「湖北は真宗王国です。」とのこと。滋賀は浄國寺に繋がると山崎のルーツの地であり、また渡辺教具という会社（築地本願寺＜真宗本願寺派＞の勧めにより創業した）のためにもがんばらなくては、という思いでなんとかお披露目会前に納めることができた。俳優座も場所を貸してくださいました。

り、ほとんど奉仕に近い仕事ぶりでした。

三月一日のお披露目会には出席できなかったのですが、寄付金も集まり、出席者も約八百人と伺いました。地元メディアの取材も相次いだようです。

校長先生は、「これでこの地球儀があと数十年持ちます。子供たちのためにも良いことです。」と言ってくれました。大成功です！

制作途中には校長先生、長浜の市議会議員浅見勝也さん、このプロジェクトの実行委員長、北村又郎さんなどが弊社に立ち寄っていただき、それぞれの志が伝わってきていました。

このようないろいろな事柄は東京藝大美術館での特別展「観音の里の祈りとくらし展」で、湖北の十八体の観音様を拝ませていただき、戦乱の中を民度の高い地元の方々が、約千年の時を守り続けていらした土地柄であることが良く分かり、改めて良いお仕事をさせていたただいたと感じました。新聞では「門外不出の観音さん上京」と紹介されていきました。なお美濃部先生のお嬢さんは名古屋のお寺に嫁いだ、と伺っていたのですが、ご主人のご住職と共に高田別院に四月に赴任されたそうです。ご縁をありがとうございます。

チャーハン弁当

山崎隆史

日本には横浜、神戸、長崎と三つも中華街があり、一般家庭でも中華料理は広く受け容れられています。日本風に改変されたものも数多く、日本風中華料理とか、場合によっては中華風日本料理とも呼ぶべきものもあります。例えばご飯にカニ玉をのせた天津飯は日本で中華系の人が作ったものです。他の「丼もの」も同様です。中国では餃子といえど水餃子ですが、日本では焼餃子が一般的です。坦々麺は、元々は麺と具（チーマーじゃん）を別々に担いで売り歩いた事が由来で、汁気が無いのが当たり前でしたが、日本ではスープに麺と具を入れたものが坦々麺になっており、汁気の無いものを「汁なし坦々麺」と呼んだりします。その他、味付け等の細かい所でも日本風になっている事もあります。

逆にも中国でも近年、日本料理が受け容れられており、中国人がマグロを寿司や刺身で食べるうまさを感じたせいでマグロが急速に減っている、などと冗談交じりに（半ば本気で）言ったりします。

しかし、中国ではかつて、握り飯や寿司は受け容れられませんでした。弁当にも米の飯は持つていかず、中華饅頭などを食べていたようです。（寿司は生魚に対する拒否感もある

つたと思いますが）冷えた飯というのは中国では「刑務所の飯」を意味するそうで、普通の人間の食べる者ではない、という意識があったそうです。一説には、中国は水が悪くて、冷えた飯はいやなおいがしておいしくないから、とか。日本にも「くさい飯」とか「冷や飯食らい」という言い回しがそれぞれありますが、中国とは似ているようでそれぞれ背景が違うような気がします。とにかく、中国で冷えた飯が限定的にでも受け容れられるようになったのは、近年の事です。

ところが、大量に冷えた飯が出る所では、それを全て捨ててしまうわけにもいきません。料理屋で閉店時に残っている飯は冷えてしまっています。これを冷えたまま食べるわけにはいかないので、味を付けて温めなおし、店員のまかない料理として作った、これが、チャーハン（炒飯）という料理のそもその由来だそうです。

さて、最近何度も関東へ行く機会があり、高田へ戻る時には決まって東京駅で駅弁を買う事になっているのですが、先ごろチャーハン弁当というものを見つけて買いました。電車の中で、「冷えた飯を温めなおして食べるためのチャーハンが、日本では冷えた後に食べるための弁当になってしまったのだなあ」と愚にもつかない感慨を覚えながら、おいしく頂きました。ごちそうさま。

ワン公物語⑦



華のつぶやき

山崎華(慎子代筆)

私は華。パグという種類の雌。もうじき七才になる。

蓮姉ちゃんがいなくなつて、私は一人言が増えてしまった。それ迄は殆んど吠えたりもしなかつたんだけど、母さん達が私のごはんを忘れていたらしい時や、外出から帰つても「はな!」って声をかけてくれない時、私は要求をアピールする。

それから、これは人間のこつらしいけど、長い間声を出さなかつたり話さなかつたりしていると、声が出てくゝなつたり、話せなくなつてしまふんだつて。それも年をとればとるほど。母さんが友達とお茶飲みに話していたのを、私はしっかり聞いていたのだ。

母さんに抱っこして貰っている時、小さい声でお喋りする。用を足す時、私は一フンフン、クークー」とクルクル回りながら慎重に場所を確かめ、おもむろに用足しをする。

私は夢もよくみる。寝ているから自分では分らないけど

「はな、何の夢を見ていたの? 寝言まで言つてたよ」と母さんが笑う。

お喋りついでに言っちゃうけど、この春先

私の住む山崎さんちで、事件とでも言うべきことがあつた。

三年前に自宅に戻つた隆史兄さんは、この三年間ほぼ毎週の土・日の夜、仏教(浄土真宗)の勉強の為に別院に通つていた。兄さんはいつの頃からか煙草を喫つていた。それもショートピースというきつい種類なんだつて。

いきなり両親との同居生活(実に二十年振り)在宅での勤務、そして土・日には夜の勉強をすることになった隆史兄さんは宣言した。「私は、三年間は禁煙しません」だつて。

その代わり、家での喫煙は台所の換気扇の下その他の場所では喫わなかつたんだよ。兄さんは優しそうにみえるけど、やっぱり父さんの子なんだね、相当頑固な人だ。

三年間の勉強が終わりに近付いたある日のこと兄さんが言つた。

「今持っている煙草が無くなつたら、そのまま禁煙しようと思ひます。そこでお父さんそれと一緒に、お酒の休肝日というのはどうでしょうか」。不意を食らつた父さんは、「ヤダ!」とひとこと

「だつて隆史は全面的にやめるのに、あなたは週に一度休むだけよ。隆史をこのまゝタバコのみにするの」と、母さんの一撃。

父さんに依れば、母さんと隆史兄さんがタバコを組むと、自分一人ではとても太刀打ち出来ないんだつて。

口惜しいな、カッコ悪いな、と父さんが思つたかどうか犬の私には分からない。

四月に入る頃だつたと思うけど、兄さんが「さて、いよいよ煙草が全てなくなりましてたよ」と告げたのだ。

父さんにすれば、二十才にならない内に飲酒を始め、以来五十年近く、ほぼ毎日飲み続けていたお酒、しかも毎晩実には旨そうにたしなんでいた晩酌。母さんは、父さんと知り合つてから五十年近く、一度も二日酔いを見たことがないんだつて。それ程強い肝臓を備えてける人が、今さら休肝日なんて大丈夫かなあでもね、私、父さんを見直しちゃつた。しっかり休肝日を守っているんだよ。

土・日は飲む機会が多いから月曜日を休肝日に決めて、差し障りのあつた場合は次の日に送るんだつて。

三度目位の時、そのことをすっかり忘れていた母さんは、せつせとおかずを作りながら「お父さん、お酒の用意は自分でして下さいね」と言つてしまつたのだ。

父さんは余裕で答えていた
「何を言つてるの、今日は飲まない日だよ」
父さんの勝ち!

ただ私としては、お酒を呑んだ父さんが、私を抱っこしてくれた時、お酒のしみこんだ手をペロペロなめるのが旨かつたんだつて。それは、ま、イゝか。
(以下 次号)